

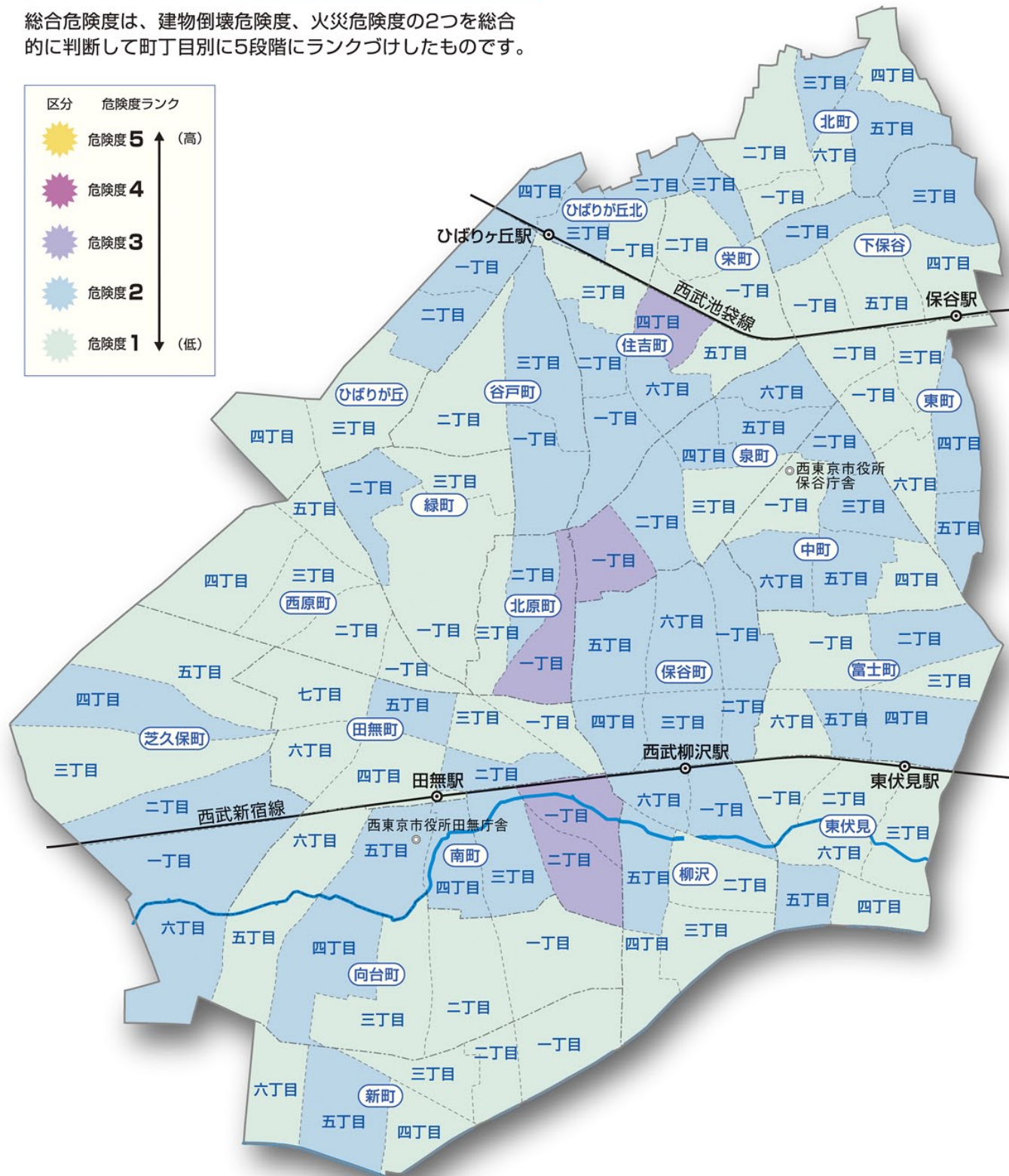
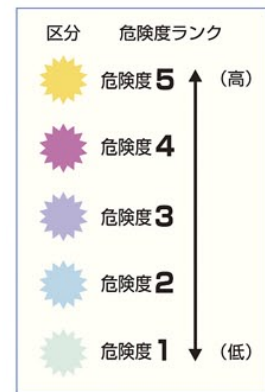
地震の危険度

地震による被害の程度は、地震の強さ、震源地、発生する時刻などの地震そのものの要因と地域のもっている危険な要因との組み合わせによって異なります。東京都では、災害に強いまちをつくるための指標等になるように、5年ごとに地域別危険度を発表しています。

※平成 25 年 9 月 17 日公表
「地震に関する地域危険度測定調査(第 7 回)」
東京都都市整備局
【都市整備局のホームページ】
<http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/>
※新規に、「災害時活動困難度を考慮した危険度」が発表されています。

総合危険度

総合危険度は、建物倒壊危険度、火災危険度の2つを総合的に判断して町丁目別に5段階にランクづけしたものです。



火災対策

火災発生!さあどうしよう?

小さな火災でも一人で消そうとせず、周囲の人や消防署に知らせましょう。初期消火で火が消せなかった場合、すばやく避難をしましょう。

初期消火の3原則

① 早く知らせる

- 「火事だ!」と大声で周囲の人に知らせ、救助を求める。声が出なければ、鍋などをたたいて異変を知らせる。
- 小さな火災でも速やかに消防署に119番通報する。



② 早く消火する

- 火の小さい初期段階ならばまだ、私たちの手で消火できます。周囲の人と協力して消火しましょう。
- 毛布などで火の勢いをおさえ、そこへ水をかけるようにします。
- 備えてある消火器のほかにも風呂の残り湯など利用できるものは全て利用しましょう。

初期消火の方法は?

- **油鍋**
あわてて水をかけるのは厳禁。消火器で消すのが原則。消火器が無い場合には、ぬらした大きめのタオルなどを手前からかけ、空気を遮断して消します。
- **カーテン、ふすま、障子**
天井に燃え移ることを防ぐことが大切です。引きちぎったり、けり倒したりして、火を天井から遠ざけて消火します。
- **衣類**
すぐ脱げるものは脱ぎ捨て、足で踏み消します。脱げない場合には体ごと地面や床の上を転げ回って消します。
- **石油ストーブ**
消火器が無い場合、ぬらした毛布などでおい、その上から一気に水をかけ、消火します。
- **電気器具**
水をかけると感電するおそれがあります。プラグを抜き、ブレーカーを落としてから消火します。

③ 早く逃げる

- 天井に火が燃え移ったらもう危険です。身の安全のためすばやく避難しましょう。
- 避難する場合、少しでも延焼を抑えるため、燃えている部屋の窓やドアを閉めましょう。

避難するときの注意点は?

- 天井に燃え移ったときがタイムリミット。すぐに避難し、あとは消防署に任せるしかありません。
- 服装や持ち物にこだわらず、できるだけすばやく避難する。
- 避難は災害時要援護者が最優先。災害時要援護者の避難の手助けをしましょう。
- 煙の中では姿勢を低くし、床をほうのように避難します。ぬれたタオルで口をふさいで煙を避けましょう。
- マンションなどでは、エレベーターを使わず、避難階段を使って逃げます。
- いったん逃げ出したら、再び火災の中には戻らない。
- 逃げ遅れた人がいる場合は、消防隊員にすぐ知らせましょう。

火災を防ぐ6つのポイント

火災のほとんどは人災です。大切なことは、日頃からの備えや火の用心を習慣づけることです。自分のいつもの行動やくせが火災の原因とならないようにしましょう。

- 1 家の周囲に燃えやすいものを置かない。
- 2 ストープの近くに燃えやすいものは置かない。
- 3 揚げ物を作るときは、その場を離れない。
- 4 電気器具は正しく使い、たこ足配線をしない。
- 5 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
- 6 子どもには、マッチやライターで遊ばせない。

住宅用火災警報器

消防法の改正により、警報器等を住宅に設置することが義務づけられています。

火災警報器のタイプ

- **煙感知式**
煙を感知します。火災では熱よりも煙の方が早く広がる場合が多いため、居室や階段への設置に適している。
- **熱感知式**
熱を感知します。台所など、火災以外の煙が生じやすい場所への設置に適している。

設置すべき場所

寝室と階段には設置しなければならない。東京都内(島しょ部の一部を除く)では、さらに台所とすべての居室(浴室、トイレ、洗面所、納戸などは含まない)の天井または壁に設置しなければならない。

消火器の使い方

- 1 安全ピンを指にかけ、上に引き抜く。
- 2 ホースをはずして火元に向ける。
- 3 レバーを強くにぎって噴射する。



※地下街、映画館、劇場など多くの人が集まる場所で火災にあったときには、パニックにならず落ち着いて行動しましょう。係員がいる場合には、誘導や指示に従って避難してください。